

「カリキュラムサポート室」の御案内 ～先生方の力量を高めるための支援事業～

県総合教育センターカリキュラム開発部研究開発班

1 「カリキュラムサポート室」とは

カリキュラムサポート室は、視聴覚資料が揃うメディアルームと、図書資料を自由に閲覧できる三つのサポートルームの計4部屋からなっています。県総合教育センターの本館1階にあり、先生方が教師としての力量を高めるためのお手伝いをさせていただくところです。大きく、三つの教育支援活動を行っています。個人の研修や、学校の課題解決にお役立てください。

2 三つの教育支援活動の紹介

(1)豊富な資料の提供

様々な図書（教科書・教育書・教育雑誌）や視聴覚教材（情報モラル・防災教育・人権教育等）、研究報告書（県内外教育機関・県長期研修生研究報告書等）を取り揃えています。日々の教材研究や教育研究を行う際の先行研究調査等に御活用いただけます。



(2)自主研修・グループ研修の場の提供

豊富な資料をもとに、各サポートルームで自主研修を行うことができます。事前にお問い合わせいただければ、グループで研修を行うこともできます。

(3)「いつでも どこでも オーダーメイド研修」

個人の課題について、日程・内容等を自分で決めることができるオーダーメイド研修です。カリキュラムサポート室開室日であればいつでも受講することができ、来室してはもちろん、オ



ンライン（要相談）で、どこでも受講することができます。

詳細は、当センターWebサイトで御確認ください。受講を希望される場合は、Asttraからお申込みいただけます。

3 カリキュラムサポート室開室日時

【平日】9：00～16：45

（祝日、年末年始除く）

【第2・4土曜日】9：00～16：30

（祝日、長期休業期間を除く）

【令和5年度 7月以降の開室日】

2023	7	July	2023	8	August	2023	9	September													
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1			1	2	3	4	5							1	2
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30			
30	31																				
2023	10	October	2023	11	November	2023	12	December													
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4							1	2
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	
29	30	31					26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30			
														31							
2024	1	January	2024	2	February	2024	3	March													
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	1	2	3	3	4	5	6	7	8	9						
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	10	11	12	13	14	15	16	
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	17	18	19	20	21	22	23	
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	24	25	26	27	28	29	30	
28	29	30	31				25	26	27	28	29										
														31							

□…平日開室日 9:00～16:45 ■…土曜開室日 9:00～16:30

【問合せ先】

千葉県総合教育センターカリキュラム開発部
（TEL）043-276-1282
（FAX）043-276-1472
（MAIL）sosekaihatu2@chiba-c.ed.jp

「授業づくり・学級づくりガイドブック (令和5年3月改訂)」の御案内

県総合教育センターカリキュラム開発部研究開発班

1 「ガイドブック」について

カリキュラム開発部研究開発班では、各教科・学校運営等に関する基礎的・実践的な調査研究と、社会の変化や本県の教育課題に即応した実践的な調査研究を行っています。昨年度の成果物として「授業づくりガイドブック」と「学級づくりガイドブック」を改訂しました。先生方の日々の授業づくりや学級経営に役立つ資料となっておりますので、御紹介します。

2 「授業づくりガイドブック」について

(1) 概要

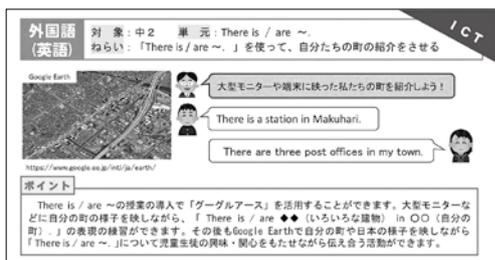
本ガイドブックは、児童生徒が「能動的に考える」授業を実践できるようにするための、授業づくりの「指南書」のようなものです。旧版（平成27年3月発行）の内容を大幅に改訂しました。



【ガイドブック表紙】

(2) 内容

授業時における四つの学習過程（※「見いだす」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」）における、具体的で効果的な「教師の働きかけ」を40例掲載しました。また、ICTを効果的に活用した最新の授業実践例を紹介しています。授業を他教科でも応用できるような汎用性の高い活用例10例を示しました。

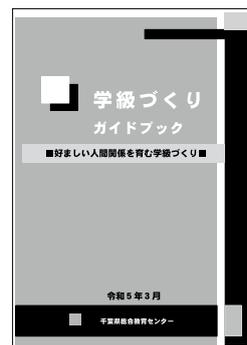


【ガイドブック内容の一部】

3 「学級づくりガイドブック」について

(1) 概要

本ガイドブックは、旧版（平成25年3月発行）の内容を大幅に改訂したものです。令和3年度から4年度までの2年間で行った調査研究「『好ましい人間関係を育む学級づくり』に関する研究」の成果をまとめたものです。



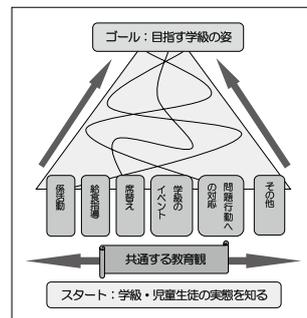
【ガイドブック表紙】

(2) 内容

学級づくりにあたっての理論研究や実践事例の収集、また有識者の助言を基にまとめた内容となっています。主に若年層を対象とした内容となっていますが、学級づくりのために大切なポイントが網羅され、年代を問わず活用できるガイドブックとなっています。よりよい学級づくりのために御活用ください。

【目次】	
I	はじめに（学級づくり理論）
II	学級づくりの進め方
III	学級開き
IV	教師と児童生徒の信頼関係
V	児童生徒同士の人間関係
VI	主体的に活動できる学級
VII	同僚・保護者との関係づくり

【ガイドブックの目次】



【ガイドブック内容の一部】

4 おわりに

まずは、下記の二次元コードを読み取り、ガイドブックを御覧になってください。多くの先生方からのアクセスをお待ちしています。

ガイドブックへとつながる二次元コード→



「接続期のカリキュラム千葉県モデルプラン」について

県総合教育センターカリキュラム開発部研究開発班

1 「接続期のカリキュラム千葉県モデルプラン」とは

平成31年3月に、幼稚園教諭や小学校教諭等がお互いの活動を理解し、円滑な接続を図ることができることをねらいとして、「接続期のカリキュラム千葉県モデルプラン 5歳児の学びのカリキュラム スタートカリキュラム」を作成しました。



【冊子表紙】

本冊子は、接続期のカリキュラムを「5歳児の学びのカリキュラム」と小学校における「スタートカリキュラム」で構成され、それぞれのカリキュラムを「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」でつなぐ構成となっています。多くの活動実践例が掲載されており、幼児教育や小学校教育に携わる先生方に活用しやすい内容となっています。

2 「幼児期の教育実践事例」について

(1)概要

令和5年1月に、「5歳児の学びのカリキュラム」として、運動系・理数系の幼児教育モデルプランを追加しました。幼児期において「室内でも実施可能な運動モデルプラン」や、「豊かな体験を通して自然や数量等への関心を

【運動系】

- ・「みんなでもっとおもしろくしよう-巧技台遊び」
- ・「どちらがたくさん入ったかな-玉入れ遊び」
- ・「新聞紙玉転がしゲーム」をしよう

【理数系】

- ・「やもりがいたよ!」
- ・「蚕を育ててできた繭玉でお花作りをしよう」
- ・「自分の考えたロケットをとばそう」

【令和5年 追加事例】

高めるモデルプラン」となっています。園の実態に応じて、活用したり、参考にしたりしていただきたいと思います。

(2)実践例

今回追加した幼児期の教育実践事例から運動系と理数系を1事例ずつ紹介します。

- ①「みんなでもっとおもしろくしよう-巧技台遊び」(運動系実践事例)

子供たちが自分たちでホワイトボードやマグネット等のツールを活用しながら話し合っ



【ホームページより】

- ②「蚕を育ててできた繭玉でお花作りをしよう」(理数系実践事例)

園内で育てている桑の木の葉を餌として蚕を飼育し、蚕の繭玉を使って「お花」作りをします。蚕の成長や変化に気付いたり、生命尊重の心情が育まれたりすることをねらいとした実践です。



【ホームページより】

3 本モデルプランの掲載場所について

本モデルプランは、県教育委員会や県総合教育センターのWebサイトからダウンロードできます。多くの先生方からのアクセスをお待ちしています。

「接続期のカリキュラム千葉県モデルプラン 5歳児の学びのカリキュラム スタートカリキュラム」→



千葉県児童生徒・教職員科学作品展から全国展へ

県総合教育センターカリキュラム開発部科学技術教育班

県総合教育センターでは、毎年「千葉県児童生徒・教職員科学作品展」を実施し、特に優秀な作品を全国展に出品している。以下、全国展で入賞した作品を紹介する。詳しくは各学校配付の千葉県児童生徒・教職員科学作品展「優秀作品選集」を御覧いただきたい。

★第66回日本学生科学賞

○入選1等

・千葉大学教育学部附属中学校 2年 會田 真央

○入選2等

・千葉市立打瀬中学校 3年 神谷 琉仁

○入選3等

・千葉市立花園中学校 2年 渡辺 恭行

・白井市立大山口中学校 2年 小林 彩花

★第59回全国児童才能開発コンテスト科学部門

○文部科学大臣賞（低学年の部）

・「たけのこ。」

野田市立中央小学校 1年 柳澤 凧瑠

審査評 クロチクの命を繋ぎたいという思いから、専門家の指導・助言を得て株分けに成功している。ないと言われていた種の大発見もした。

○全国都道府県教育長協議会会長賞

・「葉を巻く虫のなぞを解け ぼくとオトシブミの3年間」

千葉市立宮野木小学校 5年 谷本 瑛音

審査評 3年間継続して調べてきたオトシブミの生態について、三つの謎をもとに観察に取り組んでいる。失敗から生まれた熱意ある研究である。

○全国連合小学校長会会長賞

・「目ざせ！青・白・赤色のあじさい！パート2」

千葉市立北貝塚小学校 3年 一二三 千晴

審査評 昨年の失敗を基に専門家の指導を仰ぎ、長期に渡り検証している。ついには土

の成分への違和感やpH以外の要因に気付いている。

★第81回全日本学生児童発明くふう展

○発明協会会長賞

・「深海探索～TK2022の冒険～」

野田市立みずき小学校 6年 海保 樹

審査評 海の奥深くへ進んで行く様子が、モニターを通して疑似体験できる。音声や深海生物の動きも効果的で、カメラ映像も迫真に迫っている。

○日本弁理士会会長賞

・「夕立ち報知器2号の制作ー雨が止んだことも感知する新しいセンサーの研究ー」

千葉市立川戸中学校 2年 青山 直樹

審査評 雨の降り始めと終わりを感知するために雨水の波のゆれに着目して試行錯誤をくり返し、プログラムを改良した過程が大変すばらしい。

○入選

・千葉市立緑町小学校 4年 津久井 心温

・千葉市立小中台小学校 6年 濱野 健太

・八千代市立大和田西小学校 6年 山田 結楠

・船橋市立高根東小学校 5年 矢吹 千晶

・茂原市立五郷小学校 6年 西周 美咲

・木更津市立八幡台小学校 5年 大橋 悠人

・浦安市立北部小学校 4年 佐藤 優成

・千葉市立草野中学校 2年 久米村 暁

・船橋市立前原中学校 3年 大屋 陽輝

・野田市立南部中学校 1年 幸松 隼治

令和5年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展一般公開は、10月14日(土)・15日(日)、県総合教育センターで行う予定である。是非御覧いただきたい。

※**審査評**は「優秀作品選集」より抜粋。

県立房総のむら「風土記の丘資料館」 リニューアルオープン！

県立房総のむら

風土記の丘資料館は、体験博物館「房総のむら」敷地内にあり、古墳時代を中心に考古資料を展示する考古学資料館だ。令和2年から改修工事のため休館していたが、今年4月展示内容も一新してリニューアルオープンした。

1 龍角寺古墳群と龍角寺

三方を海に囲まれ、海の幸、山の幸に恵まれた千葉県では、古くから多くの人々が生活を営み、全国最多数の貝塚と並んで多くの古墳が確認されている。資料館のある房総のむら一帯にも、国史跡「龍角寺古墳群・岩屋古墳」があり、周辺の遊歩道を歩けば大小さまざまな古墳を間近に観察することができる。



120体以上の埴輪を復元した第101号古墳

2 最新の研究成果も盛り込んだ展示

リニューアルした資料館では、これら周辺史跡についての展示を充実した。国内最大級の方墳「岩屋古墳」をはじめ、大小115基の古墳で構成される龍角寺古墳群、関東地方最古の古代寺院の一つである龍角寺、そして古墳群周辺一帯が、古墳時代から古代にわたる

歴史の中で重要な地域であったことなどを、実物大模型やジオラマ、3D動画などにより視覚的にもわかりやすく紹介している。

これらの古墳を築いた豪族が、当時の王家である聖徳太子一族と密接なつながりがあったことを示唆する最新の研究成果も必見だ。



内部にも入れる石室（埋葬施設）の実物大模型



周辺史跡で出土した埴輪や副葬品

3 誰もが利用しやすい施設に

資料館のシンボルでもあったレンガ作りの外観はそのまま残されているが、内部は照明も全てLEDとなり明るい雰囲気。エレベーターや車いす用階段昇降機が設置され、障害のある方も格段に利用しやすくなった。

新しく生まれ変わった資料館に、是非御来館いただき、学校教育にも生かしていただければと考えている。

千葉県誕生150周年記念事業 特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」 7月15日（土）～9月18日（月・祝）

県立中央博物館

1 「チバニアン」とは

誕生から46億年という長い歴史を持つ地球は、いくつもの時代に分けられている。恐竜がいたジュラ紀や白亜紀などが有名で、ほとんどの時代はすでに名前が決まっているが、まだ決まっていない時代もある。地球の時代を分けるとき、生物の出現や絶滅など地球規模の大きな出来事を示す化石が使われてきた。最近では地磁気の逆転（N極とS極が入れ替わること）が起こった時期もあわせて使われている。

市原市田淵にある地層は、一番新しい地磁気逆転の記録が世界で最もよく残っているため、令和2年、時代を分ける境界がよくわかる地層として世界的に認められ、いままで名前がなかった約77万4千年前から12万9千年前までの時代がラテン語で「千葉の時代」を意味する「チバニアン」と呼ばれることになった。日本の地名にちなんだ名前が地質年代につけられることは初めての快挙だ。

2 チバニアン期の大地と海

本展示では、チバニアン期の地層から発見された化石と復元画・復元模型などにより、チバニアン期の房総にどのような生物が棲み、どのような環境であったのかを紹介する。

チバニアン期の陸上の古生物の代表格は、かわるがわる出現した3種のゾウ（ムカシマンモス、トウヨウゾウ、ナウマンゾウ）、多様なシカ類（カズサジカなど）、サイ（メルクサイ）などである。中でも、印旛産のナウマンゾウ化石は世界で初めて全身骨格が組み立てられた個体であり、実物化石が50年ぶりに千葉県

に里帰りする。また、江戸時代に発掘され、龍の頭と考えられたトウヨウゾウ化石を、描かれた古文書と共に千葉県で初公開する。

大型脊椎動物に加え、貝化石やその他の海棲無脊椎動物の化石も展示し、チバニアン期の海洋環境についても解説する。絶滅したアシカ・セイウチの仲間や多様な鯨類（ヒゲクジラ類・ハンドウイルカの仲間など）、ジュゴンの仲間（ステラーカイギュウ）、海鳥類などから、当時の豊かな海の生物相がイメージできる。見どころは、世界最大級の絶滅種のトドの化石で、約1/10の生体復元模型や原寸大の復元画を用いて、迫力ある形で展示する。

夏休みに向けて、ワークショップやクイズイベントなども開催し、幅広い世代が楽しめる展示となっている。千葉県誕生150周年の記念すべきこの年に、国際的なブランドとなった「チバニアン」について学んでみてはいかがだろうか。



科研費 KAKENHI © 株式会社（ArchW）・千葉県立中央博物館

さまざまな古生物によりチバニアン期の海を描いた復元画